

## 上田女子短期大学第40回児童文化研究大会報告

日 時：平成27年12月9日(土) 午後2時～4時

会 場：上田女子短期大学 北野講堂

講 演：「子どもの表現(主に造形表現)の理解と援助について」

講 師：花原幹夫さん(白梅学園短期大学保育科教授)

### [講師紹介]

#### プロフィール

大阪市生まれ。武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科を卒業後、同研究室の教務補助、助手を経て白梅学園短期大学に就任。現在、白梅学園短期大学保育科教授。

「子どもの表現(主に造形)と遊び」について、保育者の養成(保育士・幼稚園教諭二種)と研究を行っている。

#### 所属学会

日本保育学会、子ども環境学会、日本赤ちゃん学会、絵本学会。

社会的活動としては、保育者対象の研究会講師・多摩六都科学館「親子の造形ワークショップ」講師・東村山市子育て総合支援センター「パパとダンボールすべり台をつくろう」講師など。

#### 著者名・出版社

主著は、「保育内容 表現」編著、2009年、北大路書房。

「全ての感覚を駆使してわかる乳幼児の造形表現」共著、2011年、保育出版社。  
雑誌「美育文化ポケット」の執筆など。

#### 内容

隔年で開催される大きな研究大会となった今回は、初めて子どもと造形をテーマに開催した。幼児教育学科の1年2年の全学生および外部からの専門職の参加者を加え、幼児造形に関わり30年以上の花原幹夫先生から、子どもの五感を使った遊びが造形に繋がる事や子どもと一緒に遊べる保育者になって欲しいなどワークを交えて講演していただいた。学生たちは、講演終了後今回の講演内容をテーマにレポートを書いた。参加者にとっては、幼児造形の理解を一層深める良い機会となった。